

患者家族による病気の理解を支援するための 情報パッケージの提案

澤木 恵¹⁾, 岩澤 まり子²⁾

¹⁾ 筑波大学大学院図書館情報メディア研究科, ²⁾ 筑波大学図書館情報メディア系

1. 背景および目的

健康・医療に関する言葉は、盲腸と虫垂炎のように、一般用語と専門用語が異なっていることがある。どちらの用語を使用するかにより、医学書や web を用いた調査結果は異なっている。専門用語を使用すると、医療従事者向けの情報が、一般用語を使用すると、医療消費者向けのわかりやすい情報を得ることができる。そのため、患者家族には、医療従事者から得た専門用語を一般用語に置き換える支援が必要である。

本研究は、患者家族が病気を理解できるように支援することを目的とし、支援のための情報パッケージを提案する。

2. 方法

呼吸器疾患を対象とし、本情報パッケージで、どのような情報をどのように提供するかを検討するため、次の調査を行った。

はじめに、専門用語と一般用語の異なりを、医療者向けの医学専門書「メルクマニュアル 第 17 版日本語版」(以下、医家版)と、一般向けの医学書「最新メルクマニュアル医学百科 家庭版」(以下、家庭版)とを対象として、巻末の索引語を調査した。

次に、学会・厚生労働省・医療機関等が提供している web ページを調査して、患者家族に案内する情報源を選択し、得られる情報内容を調査した。

これらの調査結果を用いて情報パッケージを作成するために、情報をどのように再構成し、表現し提供するかを検討した。

3. 結果

3.1 メルクマニュアルを用いた専門用語と一般用語の調査

医家版からは 620 語、家庭版からは 701 語を抽出した。抽出した用語を、病名、検査、症状、治療、器具、部位、その他の領域に分類し、目次の構造を利用して専門用語と一般用語とのすり合わせを行った。病名については、37 組は共通であったが、2 組の表記の異なり、13 組の言い換え関係が認められた。症状については、9 組は共通であったが、3 組の表記の異なり、8 組の言い換え関係が認められた。

3.2 情報源・情報内容の調査

信頼のおける機関が提供している、呼吸器疾患に関する情報源として、日本医師会、日本呼吸器学会などの web サイトを収集し、分類と内容フィルタの付与を行った。

3.3 情報パッケージの設計

本情報パッケージは、専門用語と一般用語、および各資料に付与された内容フィルタを手がかりとして、患者家族が資料を入手できるように設計した。